

(件名)

沖縄「静岡の塔」について

(福祉長寿局 地域福祉課)

1 沿革

沖縄「静岡の塔」は、昭和41年4月に太平洋戦争において沖縄をはじめ、南方諸地域において戦没した本県出身者四万余名の霊を慰めるため、県、市町村並びに各方面からの寄付金をもとに建立された。

建立に当たっては、各界代表からなる「静岡県戦没者沖縄慰霊塔建立奉賛会」が設立され、この奉賛会が中心となって広く募金活動を展開し、完成するに至った。



静岡県戦没者沖縄慰霊塔建立奉賛会

名誉会長 静岡県知事 斉藤 寿夫

会 長 静岡県商工会議所連合会長 平野 繁太郎

2 概要

位置 沖縄県糸満市摩文仁ハンタ上原658番地の2

面積 1,674平方メートル

管理 公益財団法人静岡奉賛会

(同会より公益財団法人沖縄県平和祈念財団へ維持管理業務を委託)

3 静岡の塔及び各碑

静岡の塔 富士山の彫刻を施した黒御影浮金石を正碑、その両脇を縦線を施した御影稲田石を副碑とした。

なお、静岡の塔については、静岡県護国神社において入魂式を執り行った後に、沖縄へ贈られている。

祭壇 伊豆石462枚を敷き詰めて建設されている。

銘石碑文 『魂は
富士につながる
いついつまでも 静岡県知事 斉藤寿夫』

案内碑文 『静岡の塔
この塔は遥かに祖国の安泰と繁栄を願いつつ沖縄をはじめ南方諸地域においてその任に倒れその職に殉じた静岡県出身の将兵文民の不滅の偉勲をたたえその霊を慰めるため県民総意により建立したものである 昭和41年5月 静岡県』

4 合祀戦没者数（建立時）

区 分		戦没者数	内 訳
沖縄での 戦 没 者	日 本 軍 等	244,136人	正 規 軍 65,908人 防 衛 隊 28,228人 戦闘協力隊 55,246人 一般住民 94,754人
	うち本県出身者	1,607人	陸・海軍（詳細不明）
	アメリカ軍	12,520人	海 軍 4,907人 陸 軍 4,675人 海兵隊 2,938人
南 方 諸 地 域 で の 本 県 出 身 戦 没 者		38,802人	フィリピン 14,555人 中部太平洋(南洋群島) 9,260人 ソロモン・東部ニューギニア 7,302人 その他 7,685人

* 沖縄及び南方諸地域での本県出身戦没者合計 40,409人 （地域福祉課調べ）

5 改修について

戦没者への追悼の意を捧げるとともに平和を祈念するため、終戦50周年平和祈念事業として改修工事を実施した。

建立から20年以上が経過したことに伴う改修及び遺族をはじめとする来訪者の高齢化を考慮しての改修が行われた。

平成6年度 祭壇部改修、参道スロープ設置、周辺植栽、
改修記念碑設置 等
平成7年度 休憩施設設置
平成10年度 参道脇の植木が枯れたため、再度植栽
令和2年4月 手摺の設置

改修記念碑 『終戦50周年平和祈念事業
「静岡の塔」改修記念碑
平和への誓い
平成7年11月 静岡県知事 石川嘉延 謹書』